

高萩地区第1回学校運営協議会会議録

日時	令和4年6月2日（木）
場所	高萩小学校
出席者	石田則雄 鴨下吉彦 宮崎千恵子 岡野一平 田中和歌子 市川徹 井上雄太 塩川忠 谷本和歌子 河村康郎 梶野義明
欠席者	該当なし
協議事項及び 決定事項	(1) 学校経営方針について (2) 学校運営協議会の今年度の取り組みについて (3) 地域学校協働本部について (4) 年間予定について
会議の経過	(1) 学校経営方針について 【高萩小学校】 職員構成について、若く経験の浅い教員が増加している。 学校の老朽化が進んでいる。 昨年度、リモート授業と家庭学習の充実を実施している。 教育相談部会の活発化と個別に配慮を要する生徒の支援体制を整える。 運動会の実施方法の見直し（コロナ対応、中学校校庭での実施） 不慣れな運動会の実施を行っていく。 【高萩中学校】 3年生が日曜日から2泊3日で京都・奈良方面へ修学旅行を実施することができた。 目標が小学校と同じだが、漢字での表記となる。 9年間を見通した教育課程の編成と実施 開かれた学校づくりとして、地域学校協働本部の立ち上げを進める 行事計画の見直し 小中学校で擦り合わせて、施設設備の共有を進めていく 学習方略を意識した授業実践 非認知能力の向上 Chromebook を活かした授業実践 アンケート等を通じて、教育相談の充実を図っていく。 (2) 学校運営協議会の今年度の取り組みについて 委員からの意見の集約を行った。 委員：地域学校協働推進委員がまだ決まっていない。武蔵台地区と高萩地区が未定のまま。早めに決められるといい。 委員：施設について、プールや改修とで小中合同で使いやすくできるように、いろいろな形を模索していきたい。 委員： 今年度の取り組みについて、地域学校協働本部の具体的な立ち上げと、組織図についてはほぼ決まっているが、形を作っていく。 地域学校協働本部を含めて、早期に始められるように動いていくことが大切。

	・地域学校協働本部の早期立ち上げと、実行へいくことが大切 ・地域学校協働推進委員の設定がまだ。それぞれの学校応援団がいるため、実質みなさんがコーディネートしていることなる。12名のメンバー選定が可能なかで高萩地区は11名で行っている。あと1人の扱いをコーディネーターにするか、委員さんの中から選ぶか。 委員長：今年度は地域学校協働本部を立ち上げる。組織図についても決定を行っていく。広報活動をどうするか。地域へのお知らせをすることで、団体の関わりも見えてくる。 教委：ふるさと教育を学校で進めていく。ふるさと教育を進める中で、地域に人材を求めて、出前授業を行って、学校から地域へ生徒を還元させていくことができる。双方向型でメリットがある。 委員長：学校運営協議会はアイディアを出し合う場所である。地域学校協働本部は具体的な実働部隊 コーディネーター役として、健全育成の会の会長塩川忠さんに担っていただくことになった。 リーダーとして塩川さん、望月さんと清太郎さんに参加を打診する。 それぞれの団体グループの長に集まってもらい、地域学校協働本部の説明会を開く。 次回の運営協議会に地域学校協働本部の立ち上げについてあげてもらおう。 次回の学校運営協議会の時までに、1回だけでも地域学校協働本部の説明会を行われている状態に持っていくことを目標とする。
--	--